

**製品名: Oct-3/4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab15104**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	50kDa

**抗原情報**

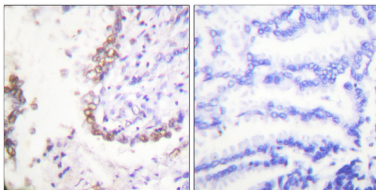
遺伝子名	POU5F1 POU5F1; OCT3; OCT4; OTF3; POU domain; class 5, transcription factor 1; Octamer-binding protein 3; Oct-3; Octamer-binding protein 4; Oct-4; Octamer-binding transcription factor 3; OTF-3
別名	
遺伝子 ID	5460.0
SwissProt ID	Q01860
免疫原	抗血清はヒト OCT3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 191-240

**背景**

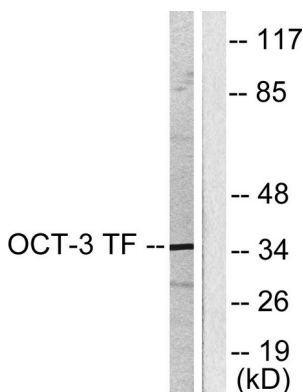
この遺伝子は、胚発生および幹細胞の多能性において重要な役割を果たす POU ホメオドメインを含む転写因子をコードする。成体組織におけるこの遺伝子の異常発現は腫瘍形成と関連している。この遺伝子は、21 番染色体上のユーイング肉腫遺伝子との転座に関する可能性があり、これも腫瘍形成につながる。選択的スプライシング、ならびに AUG および非 AUG 翻訳開始コドンの選択的使用により、複数のアイソフォームが生じる。AUG 開始コドンの1つはヒト集団において多型性を示す。関連する偽遺伝子は、1 番染色体、3 番染色体、8 番染色体、10 番染色体、および 12 番染色体上に同定されている。[RefSeq 提供、2013 年 10 月]、機能: オクタマーモチーフ (5'-ATTGTCAT-3') に結合する転写因子。DNA 上で SOX2 と三量体複合体を形成し、YES1、FGF4、UTF1、ZFP206 など、胚発生に関与する多くの遺伝子の発現を制御する。初期胚発生および胚性幹細胞の多能性に不可欠である。、その他:POU5F1 の擬似遺伝子は、1 番染色体、3 番染色体、8 番染色体、10 番染色体、12 番染色体に存在することが報告されている。そのうち 8 番染色体と 10 番染色体に位置する 2 つの遺伝子は、がん組織では転写されるが正常組織では転写されないため、発がんにおける POU5F1 遺伝子活性の調節に関与している可能性がある。、オンライン情報:10 月 4 日 エントリ,PTM:SUMO 化はタンパク質の安定性、DNA 結合、および転写活性化活性を高める。SUMO 化は YES1 の発現増強に必須である。、類似性:POU 転写因子ファミリーに属する。クラス 5 サブファミリー。、類似性: ホメオボックス DNA 結合ドメインを 1 つ含む。、類似性: POU 特異的ドメインを 1 つ含む。、細胞内局在: 拡散し、わずかに断続的なパターンで発現する。、サブユニット: UBE2I と相互作用する。、組織特異性: 発達期の脳で発現する。皮質、嗅球、海馬、小脳の特定の細胞層で最も高いレベルで発現する。成体組織では低いレベルで発現する。、

## 研究分野

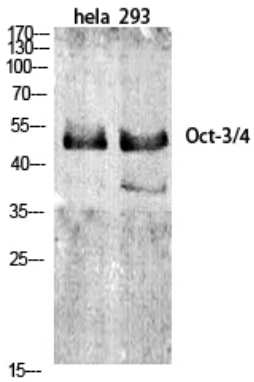
## 画像データ



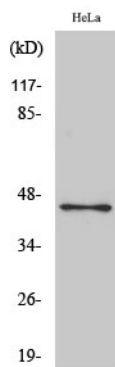
OCT3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



OCT3 抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



Oct-3/4 ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。



Oct-3/4 ポリクローナル抗体 (1: 1000 希釈) を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析